

液晶タブレットを用いた版画制作システム

キーワード: ハイトマップ, メディアアート

研究概要

近年、デジタル絵画などのデジタルアートが注目されている。また、創作技法の1つに木版画がある。これは彫刻刀を用いて木の板に溝を彫り、インクを乗せ、紙を押し付けることで、作品を制作する。しかし、使用する道具の準備や、木くず、インク汚れなど後処理に手間がかかる。加えて、刃物を扱うため怪我をする危険がある。そこで本研究では、液晶タブレットを用いた木版画を制作するシステムを提案する。これにより、手軽かつ安全に木版画を制作することができる。本システムは、画像処理の技術を用いることで彫刻跡を再現し、液晶タブレットによる筆圧の変化とペンの位置情報から直感的な創作を実現する。

